

パブリック・ミーティング

「共生の方法 Ways of Living Together」開催！



「ウイマム文化芸術プロジェクト」第二弾として、「地域、アート、多様性・多文化共生」をキーワードに、北海道・白老町にてパブリック・ミーティング「共生の方法 Ways of Living Together」を開催いたします。

ユネスコの「文化的多様性に関する世界宣言」の中には、「文化」という言葉を定義する以下の文章があります。

＜文化とは、特定の社会または社会集団に特有の、精神的、物質的、知的、感情的特徴をあわせたものであり、また、文化とは、芸術・文学だけではなく、生活様式、共生の方法、価値観、伝統及び信仰も含むものである＞

パブリック・ミーティングでは、各地域で文化プロジェクトを実践し、時に「多文化共生」と向き合ってきた方々をお招きします。各地域の事例やヒント、アイデアを共有し、改めて「共生の方法」、すなわち「文化」について考え、未来のシラオイを共に考える場を目指します。

文化庁委託事業「平成30年度戦略的芸術文化創造推進事業」

主催：文化庁/ウイマム文化芸術実行委員会

企画制作：ウイマム文化芸術実行委員会

後援：北海道教育庁胆振教育局/白老町/白老町教育委員会/一般社団法人白老観光協会/

NPO法人北海道遺産協議会/白老町商工会/協同組合白老商業振興会/

虎杖浜竹浦観光連合会/一般社団法人白老青年会議所/室蘭民報社/苫小牧民報社/

北海道新聞苫小牧支社/読売新聞社苫小牧支局



パブリック・ミーティング 「共生の方法 Ways of Living Together」

第1回 2018年7月22日(日) 14:00~17:00 (30分前開場)

●会場

しらおい創造空間「蔵」多目的ホール

(北海道白老郡白老町本町1丁目7-5)

※駐車場に限りがございますので、公共交通機関及び徒歩にてご来場ください。

●第1部
パネリスト

事例報告

加藤種男 (総務省地域力創造アドバイザー)

蔭山ヅル (ART LAB OVA)

大澤寅雄 (文化生態観察 / アートNPOリンク理事)

柴田尚 (NPO法人S-AIR代表 / AIRネットワークジャパン代表)

※詳細・プロフィールは次ページ以降を参照ください。

●第2部

意見交換

「ウイマム文化芸術プロジェクトって？」

パネリスト：木野哲也 (ウイマム文化芸術プロジェクト ディレクター /

TOBIU CAMPディレクター)

進行：大澤寅雄

第2回 2018年9月16日(日) 14:00~17:00 (30分前開場)

※飛生芸術祭2018 最終日

●会場

飛生アートコミュニティー (旧飛生小学校)体育館

(北海道白老郡白老町字竹浦520)

※会場内のグラウンドに駐車ください。

●第1部
パネリスト

事例報告

杉原信幸 (美術家/信濃の国 原始感覚美術祭ディレクター)

羊屋白玉 (「指輪ホテル」芸術監督、劇作家、演出家、俳優)

国松希根太 (彫刻家/飛生アートコミュニティー代表)

大澤寅雄 (文化生態観察 / アートNPOリンク理事)

※詳細・プロフィールは次ページ以降を参照ください。

●第2部

意見交換

「ウイマム文化芸術プロジェクトって？」

パネリスト：木野哲也 (ウイマム文化芸術プロジェクト ディレクター /

TOBIU CAMPディレクター)

進行：大澤寅雄

※チラシ別添付
(表裏)

7月22日(日)のパネリスト紹介

●"アート×まちづくり"のいろいろな形

パネリスト：加藤 種男さん（総務省地域力創造アドバイザー）

地域社会を元気にするために、文化に着目する活動が全国で多数取り組まれています。

こうした地域のまちづくりアート活動がどれほど大きな成果を上げているか、全国各地の事例を紹介しながら、白老のこれからを考えます。

<プロフィール>

1948年兵庫県生まれ。1990年アサヒビール企業文化部創設に際し、同社に入社以来、アサヒ・アートフェスティバル、アサヒビール大山崎山荘美術館、すみだ川アートプロジェクト、アサヒ・アートスクエアなどのプロジェクトと文化施設を立ち上げる。また、プログラム・オフィサーとして、気鋭の芸術家を中心に多数の芸術文化活動や芸術家の発掘支援に携わる。草の根市民社会のネットワークを提唱して、アートNPOフォーラムを立ち上げ、アートNPOリンク理事などを務める。横浜市芸術文化振興財団専務理事などを歴任し、創造界隈形成など、創造都市横浜を推進。あわせて、沖縄県文化振興財団アドバイザー、さいたまトリエンナーレ2016総合アドバイザーなどを歴任し、全国各地の創造都市、地域創造を応援。「創造列島」を提唱し、「Creative Archipelago大阪」などが始動。企業メセナ協議会専務理事、文化審議会政策部会委員などを歴任し、文化政策を提言。主な現職としておおさか創造千島財団理事、アーツカウンシル東京カウンシルボード議長、日展副理事長、八戸市「はっち」アドバイザーボード委員長、総務省地域力創造アドバイザーなどを務める。2008年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。



世界中どこにでもヒントはある。
フィンランドでの菜の花に埋もれて。

7月22日(日)のパネリスト紹介

●海外につながる子どもたちとのプロジェクト

パネリスト：蔭山ヅルさん（アーティスト/Art Lab Ova）

Art Lab Ovaは、多文化な下町にある独立系映画館の隣に拠点を移したことをきっかけに、アートをスペースを路面店的にオープン。そしてその後、近隣のこどもたちに場を無料で開放するようになったプロセスと現状をお話します。

<プロフィール>

神奈川県横浜市出身。美術大学を卒業後、欧州、アフリカ、東南アジアを放浪。1992年ころより自身の制作発表とアートプロジェクトを開始。96年音楽家でアーティストのスズキクリと共に、アーティスト・ランの非営利団体Art Lab Ova（アートラボ・オーバ）を立ち上げ、それ以来Art Lab Ovaとして活動している。Art Lab Ovaは、横浜の多文化な下町にある独立系映画館シネマ・ジャック&ベティ1階にアートをスペース「横浜パラダイス会館」をかまえ、日常の中でアートプロジェクトを展開。毎年夏に横浜下町パラダイスマつりとよこはま若葉町多文化映画祭を開催している。



帽子おじさんショー2015

7月22日(日)のパネリスト紹介

●文化と社会の「生態系」とは？

パネリスト：大澤寛雄さん（文化生態観察 / アートNPOリンク理事）

★7/22、9/16両日参加

文化と社会の関わり方を「生態系」と捉えて観察しています。福岡県糸島市の「糸島芸農」という芸術祭に関わりながら、マレビト（稀人）としてのアーティストとマレビト（客人）が出会う場や装置についてお話しします。

<プロフィール>

1970年生まれ。（株）ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室主任研究員、NPO法人アートNPOリンク理事、NPO法人STスポット横浜監事、九州大学ソーシャルアートラボ・アドバイザー。慶應義塾大学卒業後、劇場コンサルタントとして公共ホール・劇場の管理運営計画や開館準備業務に携わる。2003年文化庁新進芸術家海外留学制度により、アメリカ・シアトル近郊で劇場運営の研修を行う。帰国後、NPO法人STスポット横浜の理事および事務局長、東京大学文化資源学公開講座「市民社会再生」運営委員を経て現職。共著＝『これからのアートマネジメント"ソーシャル・シェア"への道』『文化からの復興 市民と震災といわきアリオスと』『文化政策の現在 3 文化政策の展望』。



糸島芸農の風景

7月22日(日)のパネリスト紹介

●白老アーティスト・イン・レジデンスの可能性

パネリスト：柴田尚（NPO法人S-AIR代表 / AIRネットワークジャパン代表）

1999年設立のS-AIR（札幌）では、国内外のアーティストを招へいし滞在制作してもらう「アーティスト・イン・レジデンス（AIR）」プログラムを運営しています。2015年には全国のAIR団体をつなぐ「AIR ネットワークジャパン」を立ち上げました。日本のAIRはこの20年間でどのように変化したのか。白老でのAIRの可能性を探ります。

<プロフィール>

NPO法人S-AIR（エスエア）代表。現在までの19年間に36カ国96名以上の滞在制作に関わる。NPO法人S-AIRは、2008年、国際交流基金地球市民賞を受賞。2013年度より、北海道教育大学岩見沢校教授となる。大学では、2016年より、空知を舞台としたヌーヴォーシルクの滞在制作「空知遊覧」の総合ディレクターを務めている。共著に「指定管理者制度で何が変わるのか」（水曜社）「廃校を活用した芸術文化施設による地域文化振興の基本調査」（共同文化社）がある。2016年、北海道文化奨励賞受賞。



2017年度の招へいアーティストが白老モニターツアーで参加したワークショップより。



9月16日(日)のパネリスト紹介

●旅することで土地と人とともに祭りを生み出す。

パネリスト：杉原信幸さん（美術家 / 信濃の国 原始感覚美術祭ディレクター）

白老の湖、ポロトコタンの忘れがたい聖地の気配、その地がウイマムとなる必然。縄文時代の交易は、旅と贈与に開かれていました。ヒスイの美しい魂の造形、旅する「マレビト」は、どのように土地の精霊を宿らせ、また土地へと運んで行くのか。その往還について話せればと思います。

<プロフィール>

1980年長野県生まれ。2007年東京藝術大学油画専攻修了。詩人の吉増剛造ゼミ参加。2008年個展『丸石座』詩人の吉増剛造と共演。2010-12年「会津・漆の芸術祭」参加（福島）。

2011-12年「ストーンサークルフェスティバル」（青森）縄文友の会（田口ランディ、山田スイッチ）と現代のストーンサークル制作。2016年「ストーンプロジェクト」（スウェーデン）、

「瀬戸内国際芸術祭」SOKO LABO(香川)、2016-17年「笠岡諸島アートブリッジ」(岡山)、2017年「北アルプス国際芸術祭」(長野)、「貝殻の舟ーシラヤ、神話を紡ぐ」/「AIR in

Tainan」(台湾)、「六甲ミーツ・アート2017」(兵庫)、「旅する原始感覚ーストーンサークルフィールドワーク」(イギリス、アイルランド、スウェーデン)「竹子湖AIR」(台湾)、2018年

「ONE DREAM projectレジデンス」(広島)、「Green Residency」(Mau Mau labo/ブラジル)参加。2010年より「信濃の国 原始感覚美術祭」を主催。2018年より、信濃大町「まれびとの地」アーティスト・イン・レジデンスと「まつしる現代美術フェスティバル」のディレクターを務める。



「原始感覚獅子舞」
2017年

9月16日(日)のパネリスト紹介

●人に会い、声を聞き、語り合い、そこから、社会を考え、芸術をつくりだす。
 パネリスト：羊屋白玉さん（「指輪ホテル」芸術監督、劇作家、演出家、俳優）

国内外の現代美術の芸術祭に招聘され、その土地の象徴的な場所、例えば海や列車や庭園などで演劇作品を発表してきました。最新作の地はニューヨーク。ベトナム戦争の混乱の中、ポートビーブルでアメリカへ渡った女性たちのインタビューから戯曲をつくり、彼女達の声でリーディング公演をしました。

<プロフィール>

主な演劇作品は、2001年同時多発テロの最中ニューヨークと東京をブロードバンドでつなぎ、同時上演した「Long Distance Love」。2006年、北米ヨーロッパをツアーした「Candies」。

2011年、アメリカ人劇作家との国際協働製作「DOE」。2013年、瀬戸内国際芸術祭では海で、2014年の中房総国際芸術祭では鉄道で、2015年、大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレでは雪崩よけのスノーシェッドで公演した。札幌国際芸術祭2017では、札幌の市電で新作発表。演劇作品以外の活動は、2013年よりアジアの女性舞台芸術家たちとのコレクティブを目指す亜女会（アジア女性舞台芸術会議）を設立。2014年よりアーツカウンシル東京にて、東京を舞台に「東京スーパとブランケット紀行」始動。2006年、ニューズウィーク日本誌において「世界が認めた日本人女性100人」の一人に選ばれた。



ベトナム北部マイチャウ村にて



9月16日(日)のパネリスト紹介

●地域の人と創造の現場を共にする

パネリスト：国松希根太さん（彫刻家 / 飛生アートコミュニティ代表）

飛生アートコミュニティに所属する彫刻家です。2002年に飛生に移り住み、そこで生活しながら制作を続ける中で、アトリエという創造の現場を芸術祭の会場とした理由や、周囲の人との関わりなどをお話する予定です。

<プロフィール>

1977年、札幌市生まれ。多摩美術大学美術学部彫刻科を卒業後、2002年より飛生アートコミュニティ（北海道、白老町）を拠点に制作活動を行なう。近年は、地平線や水平線、山脈といった風景の中に存在する輪郭（境界）を題材に彫刻や絵画、インスタレーションなどの作品を制作している。また、アヨロラボラトリーの活動としてアヨロと呼ばれる地域を中心に土地のフィールドワークを続ける。飛生アートコミュニティ代表。



「飛生芸術祭2016」での
アヨロラボラトリー＋石川直樹の
アヨロ パラレルワールド



●文化と社会の「生態系」とは？

パネリスト：大澤寅雄さん（文化生態観察 / アートNPOリンク理事）

★7/22、9/16両日参加

※プロフィールについては7月22日の欄をご覧ください。

●「ウイマム -uymam-」とは？

アイヌ語で「交易（※）」を表す。特に初期ウイマム（1600年代初期）は人と人、集落と集落、アイヌと他国・地域等、相互の目的や利益を叶えるための対等な交換儀礼であり、文字を持たぬアイヌにとって、モノだけでなく精神文化の面でも重要な交流であったとされる。

※参考辞典：『アイヌ語沙流方言辞典』田村すず子、草風館 / 『アイヌ語千歳方言辞典』中川裕、草風館 / 『萱野茂のアイヌ語辞典 増強版』萱野茂、三省堂



「東支蝦夷山川地理取調図 五」松浦武四郎 著
1859年（安政6年）函館市中央図書館所蔵

●お問い合わせ

ウイマム文化芸術実行委員会 プロジェクト事務局（広報担当：松田・栗栖）

〒060-0032 札幌市中央区北2条東15丁目26-28 なえぼのアートスタジオ2F
NPO法人S-AIR内

TEL：011-299-1883 E-MAIL：info.uymam@gmail.com

WEB：https://uymam.localinfo.jp/